



広報

KOUHOU KUSHIMOTO

くしもと

2008年(平成20年)1月1日発行

今月の内容

新春のごあいさつ	(P.2)
第4回定例会	(P.4)
町政懇談会 開催報告	(P.7)
年男・年女	(P.10)
まちの出来事	(P.11)

四首長が本州最東端の地へ



11月22日、本州四端協議会が岩手県宮古市で開催され、下関市長、串本町長、大間町長、宮古市長の四首長が本州最東端の地であるトドヶ崎を訪れました。(P.12に関連記事)

・人口……19,967人 ・男性……9,252人 ・女性……10,715人 ・世帯数……9,343世帯
(平成19年12月1日現在)



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様にはご健勝にて新春を迎えたことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は町政に対し格別のご理解、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

早いもので、私が合併後新串本町の町長に就任してから、既に2年半余りが経過しました。就任以来「日本一の町づくり」を目指して、観光課・水産課・商工農林課を新設し、専門的な施策を集中展開して町内の各産業の底上げに取り組んで参りました。またこの間ラムサール条約登録やエルトゥールル号に端を発するトルコ国との交流活動等、これまでになく串

本町への注目度が増してきているように感じております。昨年を顧みますと、住民の生命と財産を守り、安心して暮らせるまちづくりの観点から事業を進めて参りました。新病院建設及び防災対策について一定の方向付けがなされたのではないかと考えています。しかしながら、低迷する社会経済状況の中、また進行する高齢化、少子化、過疎化といった波の中で、本年は、次のことについて力を注いで参りたいと考えています。

まず一点は、雇用の場の創設と地場産業の育成。そのためには、水産業に係る企業誘致を含むより一層の活性化策が必要であり、漁家民泊をはじめとする観光振興の強化も必要となります。もう一点は、教育・スポーツ・文化の振興を図るために施策を講ずることであります。地域づくりの基本はなんと言いましても教育にあると確信をしています。家庭・学校・社会がひとつとなつて、子育ての支援や学校教育へのさらなる協力を図り、社会の財産である子どもたちに目線を合わせた学校教育のプラン等を工夫し、愛情と情熱をもつた取り組みを展開していくことが肝要であると考えます。本年はそのための施策に集中して取り組んでまいりたいと考えておりますので、町民の皆様の行政へのより積極的な参加をお願い申し上げたいと思います。

どうか本年も町政に対しまして、変わぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして新年の挨拶といたします。

串本町長 松原繁樹

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

よりお慶び申し上げます。町政運営につきましては、常日頃からご理解とご協力を賜りまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

新町になつて三年目。私も川勝昇前議長の後を受け五ヶ月に議長に就任させていただき八ヶ月となりました。そ

の間町民の皆様はじめ役場の職員、議會議員の皆様からご指導・ご鞭撻を戴き、頑張つてまいりました。これから

さて、町政をとりまく経済、環境、特に高齢化、更には住みよい町づくりへの対応など、町民生活の安定、安全のため行政における課題は山積みであります。

こうした中にあって、年末には平成十五年度に着手しましたサンゴ台中央線新設道路が開通しました。

新病院建設は、基本設計業者が決定し、私達の町にふさわしい新病院を考案中です。

また、新古田浄水場建設工事は、昨年の一二月に本体工事の起工式を行いました。最先端技術を用いた膜ろ過による浄化を行う施設で町民の皆様に安心・安全な水を供給できる予定です。

今後、子育て支援、雇用の創設、元気な高齢化支援、し尿処理施設建設、小学校・中学校統合問題、農林水産・商工親光業の振興等皆様方のお知恵を戴きながら当局とともに取り組んでまいります。

社会情勢の厳しい中でありますが、町議会に与えられました町民の皆様からの信頼とご期待に添うよう議員全員が結集し、頑張つてまいりたいと思います。これからも町民の皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げ、皆様方の益々のご健勝、ご多幸をお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

第4回定例会

し尿処理場建設計画については、去る8月8日開会の衛生組合臨時議会 全員協議会で、審議されました。また9月6日に古座川町連合区長会、12日に古座地区区長会、14日には串本町地区旧字区長会がそれぞれ開催され、現在のし尿処理施設の建設時における経過報告と、新し尿処理施設建設のこれまでの取り組みと現状について報告が行われました。また10月11日には、組合議員9名全員と両町の区長35名が参加し、湯浅町にあるし尿処理施設の視察が行われました。

なお、候補地については、現在町内数箇所の選定作業が行われています。

■串本町立病院

古座川病院は大変な医師不足により、無床診療所への移行等も含め検討してきましたが、診療所になると地域医療の崩壊にもつながることや新病院へのスムーズな移行に支障をきたすため、病院として存続できる最小限の医師確保に努め、救急告示と時間外診療は行なないが、内科系の慢性期患者が

し尿処理場建設計画については、去る8月8日開会の衛生組合臨時議会 全員協議会で、審議されました。また9月6日に古座川町連合区長会、12日に古座地区区長会、14日には串本町地区旧字区長会がそれぞれ開催され、現在のし尿処理施設の建設時における経過報告と、新し尿処理施設建設のこれまでの取り組みと現状について報告が行われました。また10月11日には、組合議員9名全員と両町の区長35名が参加し、湯浅町にあるし尿処理施設の視察が行われました。

なお、候補地については、現在町内数箇所の選定作業が行われています。

■サンゴ台中央線新設

平成15年度に着手しました同事業は、現在施工中の橋杭園地の整備及び舗装工事を終えれば事業が完成となります。このサンゴ台中央線が完成することによって、サンゴ台ト開催時に大水崎踏切を先頭に発生していた通行車両の渋滞の解消

入院できる病院として存続させることを計画しています。

非常勤外来である小児科・耳鼻科・皮膚科等は引き続き和歌山医大から派遣していただくことになりますが、整形外科と外科については今しばらく検討する時間をいただきたいと思います。なお、3名の常勤医師が確保できず、無床診療所となる最悪のことも想定し、許認可事務や会計変更作業等を併行して進めて行きます。

また串本病院については、古座川病院で診察をしていた時間外患者者が串本病院に集中するため、現在医師増員のお願いを近畿大学医学部へ働きかけているところです。

並びに災害時における避難道路としての機能を十分果たすとともに、サンゴ台分譲地の販売促進に寄与するものと考えています。

なお供用開始については、地域住民の利便性を考え、年末に通行が可能となるよう12月28日の完成を目指して工事を進めています。

10月6日より10日までの間、オーストラリア木曜島への墓参団派遣に併せ、姉妹都市提携要請が寄せられていましたトレス市木曜島の視察を行いました。

短い日程ではありましたが、トルコの皆様にも温かく迎えられ、無事墓参を行うことができました。

要請のありました姉妹都市提携については、平成20年度においてトレス市代表団の当町訪問も計画されており、更に協議を行ながら、住民レベルでの交流に繋がるよう務めて行きます。

本州の四つの端に位置する岩手県宮古市、山口県下関市、和歌山県串本町、青森県大間町、の首長が、最東端の宮古市に集まり、「本州四端首長トドケ崎等は及び交流会議」が開催されました。

宮古市滞在中、四首長は実際に最東端の地であるトドケ崎灯台を訪れ現地を視察したほか、今後の四端交流の取り組みについて意見交換を行い、この様子は地元の新聞・テレビなどのメディアで大きく取り上げられました。

■へき地保育所

去る11月27日に第1回目の検討

■新古田浄水場建設

新古田浄水場建設工事につきま



平成19年串本町議会 第4回定例会

平成19年串本町議会第4回定例会は、12月11日に招集され、会期を12月25日までの15日間として開会されました。開会後松原町長より、し尿処理施設建設や新病院建設等について諸報告があり、続いて諸議案について提案理由の説明が行われました。今月号では町長諸報告の要旨についてご紹介いたします。



諸報告（要旨）

■新病院建設

新病院の用地関係事業について、町と土地開発公社で「事業先行取扱に関する契約」を締結し、土地開発公社において事業を進めているところであります。現在、用地の測量を終え、地質調査並びに造成計画に取りかかっています。

今後、新病院の設計・建築を進める上で、大規模医療機器や医療情報システム導入等との調整が必要であり、また新病院開院までに医療機器等の購入や移転計画など多種多様な業務を進めなければなりません。これらの業務を円滑に進めるには、専門的な知識が必要であり、そのための人的な体制を整えるとともに、コンサルタントの活用も併せて取り組んで行きたいためと考えています。

今後は、首長・産業界個別で会議を進める等、協議方法を改めて検討することとなりました。町としても町議会、商工会と三者が集まり、協議を重ねて串本町として取り組んでいく姿勢は変わらないことの説明を行いました。

しかし、紀南地域での最終処分場の必要性から、公社の存続を求める意見がほとんどであり、町と新たな公社を起こしては、といつた厳しい意見も出されました。

それでも、これからも公社の一員として取り組んでいく姿勢は変わらないことの説明を行いました。

今後は、首長・産業界個別で会議を進める等、協議方法を改めて検討することとなりました。町としても町議会、商工会と三者が集まり、協議を重ねて串本町として取り組んでいく必要があると考

えるところです。

■最終処分場

去る10月26日と12月2日、いず

れも田辺市において公社理事、評議員合同会議が開催されておりました。会議では、今後の最終処分場建設をどのように推進していくのか、また紀南環境整備公社を解散

■し尿処理施設

去る10月26日と12月2日、いず

議員合同会議が開催されておりました。会議では、今後の最終処分場建設をどのように推進していくのか、また紀南環境整備公社を解散

町長諸報告

第4回定例会

道路、敷地造成工事を開始し、去る12月5日、本体工事の起工式を執り行つたところです。

本施設は町民の皆様に、安心・安全な水を提供するため、クリプト菌等の病原菌対策として、現在の最先端技術を用いた膜ろ過による浄化を行う施設であり、東南海・南海地震にも対応できる耐震化された施設です。今後場内整備等、地元発注を予定している工事の内年度内発注できる工事については、できる限り早い時期に発注を行い、平成21年4月の供用開始にむけて取り組んでいきたいと考えています。

■後期高齢者医療制度

平成20年4月から実施される後期高齢者医療制度に伴い、和歌山県後期高齢者医療広域連合の臨時議会が11月20日開会され、保険料率が盛り込まれた「和歌山県後期高齢者医療に関する条例案」が可決されました。

保険料率は、被保険者に一律賦課される均等割り額で年額4万3千375円、所得に応じて賦課さ

れる所得割率は、7.92%、賦課限度額は50万円と規定されます。この料率を元に試算した県平均保険料は、年額6万1千623円（月額5千135円）と試算されています。

■サンゴ台地区字新設

サンゴ台区の要望により、サンゴ台の宅地造成事業等により新しい区画に合わせた字を設定するため、関係機関等と協議を行ないながら作業を進めてまいりました。この度、サンゴ台に新設する区域を定め、区域内全ての地番の確認作業、サンゴ台地区住民説明会及び同地区に住所を有しない地権者の文書通知等が整いました。

■国民宿舎あらふね

去る10月31日に指定管理者の募集を締め切ったところ、2社による申し込みがあり、串本町公の施設指定管理者選定審議会を3回開催し、指定管理者候補に株式会社アセット・オペレーターズを選定しています。

ごみ処理施設建設用地購入に係る住民訴訟

判決確定

住民訴訟(監査請求)の経過

- H15.1.21 住民監査請求が出される。
- H15.3.24 「ごみ処理施設の必要性・緊急性から、やむを得ない購入価格であると認める」として監査委員が監査請求を棄却。
- H15.4.15 和歌山地裁に対し、原告から訴状が提出される。
- H17.3.25 地裁判決。「原告からの請求を棄却する」控訴
- H17.4.6 大阪高裁控訴審判決「控訴棄却」上告。
- H18.4.10 最高裁判決「上告審として受理しない」

平成14年、当時の串本町古座町古座川町衛生施設事務組合が広域ごみ処理施設（現宝島クリーンセンター）建設用地として購入した山林が、不当に高額である（77,060m²、1億円）として、前衛生組合管理者に対し「原告側が正当と見なす価格との差額（9,766万円余り）」の返還が求められていた裁判で去る11月8日、最高裁において「本件を上告審として受理しない」との判決が下されました。これにより当衛生組合の勝訴が確定しましたのでおしらせします。

病院建設・環境問題などに

たくさんのご意見

11月7日～11月25日の日程で、町内13会場において開催された町政懇談会がこのほど終了しました。懇談会では、松原町長が、2次合併を始めとする現在串本町が取り組んでいる主要課題について説明を行いました。参加者からは主要課題についての質問の他、町政全般にわたって様々なご意見・ご提言をいただきました。

た。今月号ではその一部について、分類してご紹介いたします。皆さんからいただいたご意見については、担当各課において対応するとともに、今後の町政運営の参考にさせていただきます。



串本町文化センターでの町政懇談会

■2次合併に関するご意見

○広域合併を行うことでスケールメリットをいかしては。

○合併すると、各施設が遠くなり高齢の方にとって不便。

○広域は5年、10年といった長いスパンで考えるべき。あまり自治体が大きくなるのはよくない。

○新町になってからまだ建設計画ができただばかりだというのに、新たな合併は時期尚早だと思つ。

○2次合併に関するご意見

○2次合併は、合併の効果を判断するデータが出揃つてから考える問題だと思う。

○はやく広域合併をしてほしい。三重原域もふくめては。

○1次合併後の状況について、町民の意識調査を行うべきでは。

○1次合併後も地域性の摩擦がきついところもあり、デメリットの面が濃い。

○2次合併に関するご意見

○2次合併は、合併の効果を判断するデータが出揃つてから考える問題だと思う。

○合併は社会の流れで避けられないと考えるが、田辺・西牟婁郡への合併案は。

○紀北地域では小規模な合併で残している自治体もあるなか、今回県から示されている、東牟婁郡をひとくくりにするという広域合併案には疑問がある。

■新病院建設に関するご意見

○新病院ではこれまでの病院運営で問題があつた点を十分考慮してほしい。

○信頼のできる病院をつくり、医療機器も充実させてほしい。

- 町で医師確保にかかる、奨学金制度等の取り組みはできないのか。
- 新病院建設予定地は、災害時踏切をわざらないで病院に繋がる道路が現在建設中の1本のみ。闘野川からの取り付け道路など、災害避難道について考えてほしい。
- 新病院ができるまでの間、赤字経営の病院を二つとも存続させていいのか。経営を縮小して、赤字軽減策をとつては。
- 新病院について、この地域で多くの診療科をもつのは不可能では。採算性を考えるのであれば、大学病院の意見を参考にしては。
- 現在町の主要課題の中で優先順位の1位は新病院の建設だと考える。医師の確保や、住民の利便性を十分考えてほしい。
- 新病院の運営に関しては民間のような発想で取り組んでほしい。
- 新病院の運営に関し、管理職に研修を義務づけるなど、現場の質の向上を図つてほしい。
- 病院検討委員会には高齢者の委員も加えてほしかった。
- 新病院は安全で安心して利用できる病院にしてほしい。

■教育・文化・スポーツ振興に関するご意見

- の時間とバスの時間が同時刻となつていて。検討の課題にしてほしい。
- 高齢者の方の意見を聴取できるような場にしてほしい。
- 情報公開をもっと進めてほしい。
- 少数の意見も尊重しながら町政を行ってほしい。
- 串本町を日本一の町に、とのことだが、どうすればそうなるか職員からアンケートをとつてみては。

するご意見

- 給食事業について、今後の子どもの減少を考えると、古座の給食施設を利用し、できるところからやつていけばどうか。
- 古文書の整理を生涯学習課で行ってほしい。
- 学校統合後の廃校舎利用について教育委員会だけでなく行政を挙げて考えてほしい。
- 廃校となつた学校施設の利用方法について、企業誘致などの検討を。また跡地の扱いについては具体的に区民に示してほしい。
- 廃校後の学校施設について、長期間放置されるのは困るので、使用が決まるまでの管理をお願いし

たい。

○稲村台地の開発についてグラン

ドゴルフの公認コースを作つては。

○サンゴ台の雨天練習場への道が

水はけが悪い。

○学校の統廃合にあたつては、統

廃合の1年前など直前になつて伝

えるのではなく、保護者の方々へ

の説明を事前に行ってほしい。

○浪ノ浦地区の港湾工事についてはよい

が、環境破壊が懸念される。

陸上養殖の可能性についても検討しては。

○株マルハの誘致については町が

もつと積極的に進めていたいた

らよいと思う。

○海産物に与える影響が心配。沿岸

の汚染対策を含めて地域と意見交換をしてほしい。

○水産試験場前の「水門まつり」

について、指定管理料を支払つて

民間に経営させているが、他の地

元の商店と比べて不公平では。

○鳥獣被害が多く、柵を作つただ

けでは被害が収まらなくなつてしまつた。

○農業に意欲ある人を募集し、行

政も補助金の工面や流通の過程に

介入して新体制を考慮してほしい。

○磯の流木が景観を損ねていると

思うので、対策をとつては。

○バイオマスは個人的には非常に

よい案だと思うので、再検討をお

願いしたい。

○民泊事業はぜひ町が積極的に進

めてほしい。

○樺野へのバスツアーガ少なく、

もつたないようだ。

○バスのツアーリーに樺野へも行くよう誘致

しては。

○望楼の芝生の無料開放について、

ツアーリーに樺野へも行くよう誘致

しては。

○にしき園までの道路の拡張につ

いてどのように考へているか。軽

自動車が1台通れる農道があるの

はできないか。

○田並川では葦の群生により増水

の度土砂がたまり不安。また河口

では土砂の堆積により川幅が狭く

なっている。災害対策の観点から

はできぬか。

○田並川では葦の群生により増水

の度土砂がたまり不安。また河口

では土砂の堆積により川幅が狭く

なっている。災害対策の観点から

はできぬか。

○現地調査を行わずに、もし強引

に反対し、串本町が公社から脱退

した場合、田辺市等にできた最終

候補地が何ヵ所かあるとの話が

あつたが、そのようなことを聞け

ばすぐできるような誤解を生じる

のでは。

○湯浅町での処理施設視察後、新

し尿処理場の事業経過はどうなつ

ているのか。視察参加者に報告す

るべきでは。

○有田区との契約期間は分かつて

いたはずなのに対応が遅く、後手

後手にまわつてはいる。

○し尿処理場の受け入れを検討し

ている地区があるのであれば、町

からも積極的に話をしては。

○有田区が施設使用期限の延長を

ことわつたのは住民の総意。真摯

に受け止めてほしい。

○最終処分場建設に関するご意見

○最終処分場等の広域的な施設は

人口等利用頻度の高いところが引

き受けるべきでは。

○最終処分場の建設に関しては、

公社側から地元への恩恵に対する

に受け止めてほしい。

○防災訓練の際、田原区ではみん

な津波避難タワーへ避難したが、

本町は環境資源を守つてほしい。

○防災訓練の際、田原区ではみん

な津波避難タワーへ避難したが、

本町の方を細やかに見てほしい。

○住みよい町を作るための施策を

はかりやすく、住民の真意を伝えてほ

しい。

○観光・水産立町でいくなら、串

本町は環境資源を守つてほしい。

○郵便局が民営化してから、郵便

局を通じての役場への支払に、手

数料が発生している。対応を。

○防災行政無線のアナウンスが下

手である。また5時のチャイムで

串本節終了部分のアレンジが不快。

○住みよい町を作るための施策を

はかりやすく、住民の真意を伝えてほ

しい。

○現地調査を行わずに、もし強引

に反対し、串本町が公社から脱退

した場合、田辺市等にできた最終

候補地が何ヵ所かあるとの話が

あつたが、そのようなことを聞け

ばすぐできるような誤解を生じる

のでは。

○湯浅町での処理施設視察後、新

し尿処理場の事業経過はどうなつ

ているのか。視察参加者に報告す

るべきでは。

○有田区との契約期間は分かつて

いたはずなのに対応が遅く、後手

後手にまわつてはいる。

○し尿処理場の受け入れを検討し

ている地区があるのであれば、町

からも積極的に話をしては。

○有田区が施設使用期限の延長を

ことわつたのは住民の総意。真摯

に受け止めてほしい。

○最終処分場建設に関するご意見

○最終処分場等の広域的な施設は

人口等利用頻度の高いところが引

き受けるべきでは。

○最終処分場の建設に関しては、

公社側から地元への恩恵に対する

に受け止めてほしい。

○防災訓練の際、田原区ではみん

な津波避難タワーへ避難したが、

本町は環境資源を守つてほしい。

○郵便局が民営化してから、郵便

局を通じての役場への支払に、手

数料が発生している。対応を。

○防災行政無線のアナウンスが下

手である。また5時のチャイムで

串本節終了部分のアレンジが不快。

○住みよい町を作るための施策を

はかりやすく、住民の真意を伝えてほ

しい。

○現地調査を行わずに、もし強引

に反対し、串本町が公社から脱退

した場合、田辺市等にできた最終

候補地が何ヵ所かあるとの話が

あつたが、そのようなことを聞け

ばすぐできるような誤解を生じる

のでは。

○湯浅町での処理施設視察後、新

し尿処理場の事業経過はどうなつ

ているのか。視察参加者に報告す

私たちみんな 子年生まれです

今年、年男・年女となる『子(ねずみ)年』生まれの皆さんに、今年の抱負や町への要望などについて語っていただきました。
◎は今年の抱負、☆は町への要望

ひとみ
あい
愛さん(桑ゴ台)かわむら
ともひと
川村 友人くん(和深)うえの
かずお
上野 一夫さん(中湊)たかす
なおこ
高砂 直子さん(二色)たけだ
ひろゆき
竹田 裕之さん(潮岬)なかむら
よしぇ
中村 芳枝さん(櫻野)こうた
けいそう
交田 恵三さん(田並)ふるかわ
なるみ
古川 成美さん(蘭野川)

◎これまでずっと関わってきた海を眺めたり、漁師仲間と話したりしながら、毎日を楽しく過ごしています。
☆若い人が残って働くような活気のある町になってほしいです。

◎まだまだこれからが青春だと思っています。健康を第一に、人に迷惑をかけないよう、仕事に趣味に活動していきたいです。
☆海水浴場などで、ゴミがちらかっているのを見かけるので、公共マナーの向上を促してほしいです。

地場産業にもつと元気を

会場での地元特産品販売（右）



催し物の最後に行われたもちまきは大勢の参加者で賑わいました。（下）



12月9日、古座小学校体育館において、「ふるさとフェア古座」が開催されました。晴天に恵まれた会場では、魚のすり身や野菜がたっぷり入った「古座ちゃん鍋」の振る舞いや、風船のブレゼントが行われたほか、農産物や鮮魚・干物など数多く露が行われたほか、福引き抽選会や、もちまきの催し物が行われ、会場は地場産品を買い求める人々でたいへん賑わいました。



運転手にチラシ等を配り、安全運転を呼びかける交通指導員

ドライバーに安全運転を呼びかけ

12月4日、橋杭海水浴場駐車場において、年末の交通事故防止県民運動として、街頭啓発活動が行われました。啓発活動には、串本警察署員、串本建設部職員、航空自衛隊第5警戒隊員、交通指導員や交通安全母の会員ら関係者約50人が参加。この日は約200人のドライバー一人一人に安全運転を呼びかけながら、チラシ等の啓発物を手渡しました。



介護の体験について講演する江村さん

介護は心に余裕をもつて

11月28日、串本町文化センターにおいて、前高槻市長で、妻の介護のために市長を辞任されたことで知られる江村利雄さんを講師にお迎えし、人権講演会「夫のかわりはおりまへん」（串本町人権委員会主催）が開催されました。

講演会は、江村さんのユーモアを交えた楽しい語り口で、会場からは時折笑いがおこるなど、終始明るい雰囲気で進められました。また江村さんは、妻の介護の体験に触れ、「介護は、よくなるという希望や、心に余裕を持たないと長続きしない」と話し、「皆さんのがそれぞれの立場でサポートし、ともに手をつないで生きて行けたらよいと思う」と聴衆に語りかけていました。

◎昨年は病気で大峰奥駆け道を歩くことができなかったので、今年こそ那智勝浦から吉野まで歩きたいです。

☆語り部を始めたこれまで知らなかつた町の魅力に気づきました。町内外の方に町の隠れた魅力を知ってもらえるよう町もPRしてほしいです。

◎最近娘と同じ趣味ができ、一緒に楽しんでいます。今年も健康で、仕事にプライベートに充実した日々を過ごしたいと思います。

☆新しくできる病院は、安心して、利用しやすい病院になってほしいと思います。

本州最東端の宮古市へ四首長が集結

本州四端協議会

地域水産業の振興に多大な貢献

和歌山県農林水産業賞



11月22日、岩手県宮古市において、串本町を含む山口県下関市・岩手県宮古市・青森県大間町の本州東西南北四端に位置する自治体首長が集まり、本州四端協議会が開催されました。本州四端に属する自治体での協議会開催は、今回が初めてとなります。

この日四首長は、本州最東端の地となる宮古市トドケ崎を訪れ、今後一層交流を深めていくことを確認しました。また午後からは交流会議が行われ、これからも展開について、住民レベルでの交流も深まるよう働きかけていくことについて意見が交わされました。次回の本州四端協議会は、本州最西端の山口県下関市での開催が予定されています。

予期できぬ災害に備えて

エアーテント配備

12月6日、串本消防署に新しく災害時用のエアーテントが配備され、試験使用が行われました。

このエアーテントは、災害時に応急救助所や現地災害本部等多様な使いができるもので、平らな地面さえ確保できれば、ポンプで空気を送り込むことにより、3分～5分程度の短時間で立ち上げることができ、緊急時ににおける活躍が期待されています。



12月6日、串本消防署に配備された災害時用エアーテント

寺本正勝さん(69歳 和深)

昭和42年から本格的にマグロはえ縄漁業に従事し、漁法に工夫を重ね、改良した漁法を全国各地で普及とともに、地元の安佐漁港の改修に尽力するなど、地域水産業の振興に多大な貢献をされました。



寺本 正勝 さん

須江漁業協同組合

「海遊体験事業」や「須江水産まつり」を開催するとともに、磯焼け防止、高齢化対策としてビジキ・ヒロメの養殖やホームページを利用した漁協のPR、漁獲物のネット販売に積極的に取り組むなど地域水産業の振興に多大な貢献をされました。



須江漁業協同組合

よろこび かなしみ

(11月受付分 敬称略)

※広報への掲載を希望されない方は、届出の際に窓口にお申し出ください。

石尾 潮崎	中山 千隆	岩見 長	土井 克	東崎 静	杉本 孝
ツヤノ	千歳	二歳	已	代	治
90 87	87	97	47	74	80
串 潮	姫 古	西 西	西	西	西
本 崎	川 座	向 向	向	向	向

ご冥福をお祈りいたします

お祈りいたします

道前 上地 伊藤 舞依子

圭吾 健太

いつまで お幸せに

出生児氏名 小堀 敬太郎

丸山 翔永

村上 然

お誕生日おめでとうございます

俊之 雅博

翔輝斗 義朋

彰人 潮岬

おめでとうございます

宮古市で交流会議を行った四首長

今年の火災・救急件数 - 12月1日現在 -

火災件数	救急件数
建物 5件	70件
林野 0件	65件
その他 3件	8件
合計 8件	合計 1053件

火災のない住みよい豊かな町づくり

インフルエンザにご注意

～インフルエンザと風邪のちがい～

	インフルエンザ	かぜ
初期症状	悪寒・頭痛	のどの乾燥感・くしゃみ
主な症状	発熱・全身痛・悪寒 倦怠感	鼻水・鼻づまり せき
熱	38度～40度 (3～4日間)	微熱
合併症	気管支炎・肺炎など	まれ

インフルエンザを予防するには？

日常生活での予防法としては、栄養と休養を十分にとる、人混みを避ける、室内の乾燥を防ぐ、外出時のマスクの着用、帰宅時うがい・手洗いを励行することをおすすめします。

かかったかな？と思ったら

早く治すには、無理をしないことが大切です。特に高齢者や子ども、持病のある人の場合、重症化しやすいので、軽く考えずに早めに医師に診てもらうことが重要です。一般的に、インフルエンザを発症してから3～7日間はウイルスを排出すると言われ、この間は感染力があるので、咳などの症状が続いている場合はマスクをするなど周囲への配慮が望されます。

木下義夫さん(田辺市)から寄付をいただきました。

田辺市在住の元県議会議員木下義夫さんより、町へ寄付をいただきました。木下さんは先日行われました秋の叙勲で、旭日双光章を受章され、このことをきっかけに「これまでお世話をなった周辺市町村のお役に立ててほしい。」と寄付を申し出くださいました。ご厚意に感謝するとともに、町民の福祉のために、有效地に使用させていただきます。



松原町長へ寄付を手渡す木下さん

新しい民生委員児童委員が決まりました

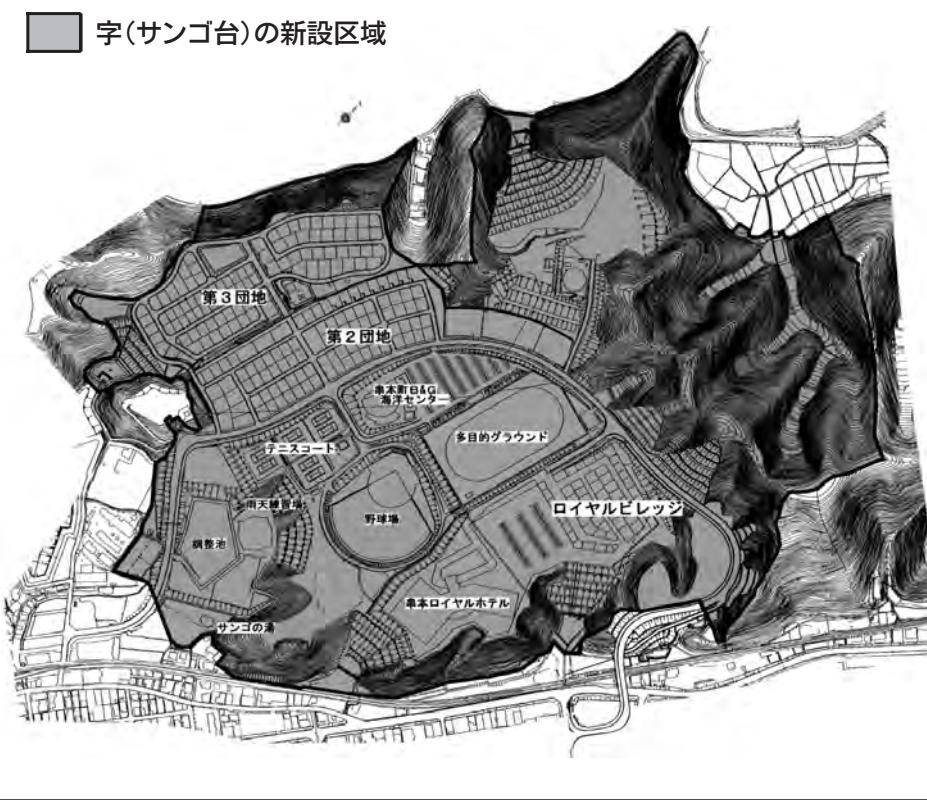
お気軽にご相談ください。

誰もが安心して暮らしやすい地域社会をつくるために、皆さんの身近なところでさまざまな相談支援活動をしている民生委員児童委員と児童福祉に関する仕事を専門的に担当する主任児童委員が12月1日付で委嘱されました。相談についての秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。(敬称略、左から担当地区名・委員名)



串本町文化センターでの委嘱状伝達式

東	坂成 正人	向地	増本 達彦	下地	中 謙一	西向	古田	谷本 節代
西	金盛 道子	本坊地	巽 典子	前地	東道 茂		中湊1	田中 啓之
南	堀 周雄	平松	木山 誠彌	西地	片岡 大作		中湊2	小林 広之
北・袋	岡村 浩子	東地	阪口 啓子	小河口	村上 正人		古座1	泉 澄代
植松	南地きよみ	西地	吉田 美春	里川	西村 勇		古座2	網 義輔
植松	矢野 郁雄	萩尾・塔石	萩中シゲリ	大島	田島 美生		古座3	垣花 幸男
堀笠島	笠嶋 良平	浜地・貝岡	深美 剛一	大島	山本 壽喜		上野山	佐藤 優
堀笠島	北 泰子	北地	雜賀 桓	須江(峰地)	芝 文子		津荷	川名千代美
矢の熊	前芝 雅代	上地・吐生	松村 喜雄	田原1	柳川 正男		田原1	柳川 正男
矢の熊	寒川 保子	西地	林 和照	田原2	尾鷲 壽夫		田原2	尾鷲 壽夫
矢の熊	深美 忠絃	上地	松岡 鮮也	田原3	西 敏彦		田原3	西 敏彦
二色	東 正司	下地	横溝よし美	上田原	平瀬恵美子		上田原	平瀬恵美子
高富	野澤 山枝	向地	前溝 正夫	佐部	垣本 保		佐部	垣本 保
園野川	阿波 千春	灰地	瀬戸 章子	神野川	元平 忠夫		神野川	元平 忠夫
大水崎	堀 登世	前地	河野 明美	原町	元平 知代		原町	元平 知代
サンゴ台	和泉 勝也	江田	懸橋 裕子	上ヶ地	福島安規子		上ヶ地	福島安規子
出雲	権現 坂井 純子	田子	中筋雄四郎	住吉	矢口 登		田子	中筋雄四郎
潮岬	出雲 堀口 鈴子	安指	山本 美和	住吉	出口 広美		安指	山本 美和
芝古地	潮崎 タヅ	東地	松田 真知	岩淵	片山美津代		東地	松田 真知
串本町一般不妊治療助成事業への申請等につきましては、保健センターまでご連絡ください。(詳細につきましては広報11月号へ掲載しています。)								



串本町では、大規模な宅地造成で土地の形状に変更が加えられたことにより、新しい区画に合わせた字を設定するため、字の区域の新設(園野川の一部をサンゴ台に変更)について、平成20年4月1日から実施するよう事務を進めています。

字(サンゴ台)の新設が実施されると、新設区域内の住居標記が「串本町園野川〇〇番地」から「串本町サンゴ台〇〇番地」に変更されます。なお、地番の変更はありません。

字(サンゴ台)の新設のお知らせ



保健センター たより

【成人関係】

健康相談

実施日	受付時間	会場
1月11日(金)	9:30~11:00	有田公民館
1月15日(月)	13:00~15:00	保健センター2階
	9:30~10:30	津荷老人憩の家
1月30日(水)	13:00~14:00	古田青年クラブ
	14:30~15:30	田原山交流センター

*誰でもお気軽に会場へお越しください。
(血圧測定や健康についての相談を受けております)

献血

日 時	場 所
1月10日(木) 10:00~16:00	WAY駐車場(ライオンズクラブ後援)

平成20年度検診希望調査票について

平成20年4月以降の各種検診について世帯毎に調査票を送付いたします。検診を希望する方はもちろんのこと、希望しない方ももれなくご記入の上、保健センターまで提出してください。提出期間…平成20年2月8日(金)まで

保健センター1月の行事予定は下記のとおりです。
※健康診断等についてのお申し込み・お問い合わせは、保健センター(0735-62-6206)まで

【乳幼児関係】

乳幼児健診

日 時	場 所	内 容
1月10日(木) 13:00~14:00	保健センター2階	1歳6ヶ月児及び2歳6ヶ月児健診
1月17日(木) 13:00~14:00	保健センター2階	10ヶ月児及び1歳児健診
1月24日(木) 13:00~13:30	保健センター2階	4ヶ月児健診及びBCG接種
1月24日(木) 13:30~14:00	保健センター2階	6ヶ月児健診

乳幼児予防接種 各種教室

日 時	内 容
1月8日(火) 13:10~13:40	三種混合1期初回
1月16日(水) 12:40~13:10	三種混合1期追加
1月24日(木) 13:00~14:00	BCG
1月31日(木) 13:10~13:40	MR(麻疹・風疹混合)

*三種混合・ポリオの接種対象は7歳6ヶ月未満の方です。
(三種混合1期初回は3~8週の間隔で3回接種します。)

*予防接種・教室の会場はいずれも保健センター2階です。
○串本町一般不妊治療助成事業への申請等につきましては、保健センターまでご連絡ください。(詳細につきましては広報11月号へ掲載しています。)

▼70歳から74歳の方の窓口負担の見直しについて

平成20年4月から平成21年3月までの一年間窓口負担が1割に据え置かれます。

*既に3割負担をいただいている方、後期高齢者医療制度の対象となる一定障害認定を受けた方は除きます。

*昨年の制度改革では、70歳から74歳の方の窓口負担については、平成20年4月から2割負担に見直されることとされたものを据え置くものです。

おなかのまわりに脂肪の付く内臓脂肪型肥満に加え、脂質異常、高血圧値、高血糖の危険因子を複数合わせてもつメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状態または予備軍の人は、40歳から74歳の男性で2人に1人、女性で5人に1人といわれています。平成20年4月から、40歳から74歳の医療保険加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健康診断と、保健指導が実施されることになりました。いつまでも健康でいるためには、予防が何より大切です。健診等を活用していただき、みなさまが健康になることは、増え続ける医療費を抑制します。新しい健康診断をみなさまの健康づくりにお役立てください。

△お問い合わせ先

串本町役場 住民課

電話 0735-62-0555 「内線 113・114」

国民健康保険よりお知らせ

70歳から74歳の方が医療機関で治療を受けたときに、お支払いただく窓口負担について、次のとおり取りまとめられました。

お知らせ&行事

お知らせ	
▼日時	平成20年1月19日（土）午前9時30分～午後3時迄
▼場所	串本町文化センター及び串本町地域保健福祉センター
▼内容	○講演（午前9時30分～午前11時30分） 「自分の体は自分で守ろう」 ※その他家庭看護法講座及び病気と食物の講座（調理実習有り） ○検診（午前11時30分～午後3時）
▼日時	平成20年1月25日（金）午前10時～午後3時
調停相談会開催	
▼日時	平成20年1月25日（金）午前10時～午後3時
▼場所	串本町文化センター
▼内容	日常生活上のいろいろな争いごとを円満に解決するため、裁判所には調停制度があります。串本調停懇話会では、民事事件に関する調停で解決すればどのような効力があるかなど、実際に調停に携わっている調停委員が相談に応じますので、遠慮なくお越しください。（無料・秘密厳守）
特設法律・人権相談所	
▼日時	平成20年1月17日（木）午後1時30分～3時30分
▼場所	串本簡易裁判所
▼担当者	連絡先 串本町役場本庁舎 TEL62-0555 串本町役場古座分庁舎 TEL72-0081 串本病院 TEL62-0635 古座川病院 TEL72-0280 学校教育課 TEL62-6066 生涯学習課 TEL62-0006 串本町立図書館 TEL62-4653 保健センター TEL62-6206 サンゴの湯 TEL62-2001 B&G海洋センター TEL62-5540 国民宿舎あらふね TEL74-0124 町内放送案内 TEL0120-928-649 串本町ホームページアドレス http://www.town.kushimoto.wakayama.jp/ 串本町メールアドレス（代表） soumu@town.kushimoto.wakayama.jp
法曜・律無料公証	
▼日時	平成20年1月20日（日）午前9時～午後5時
▼場所	新宮公証役場
▼担当者	新宮人権擁護委員協議会事務局 (和歌山地方法務局新宮市局内) TEL 0735-22-2757 新宮公証役場では次のとおり「日曜・無料公証法律相談」を開設いたします。

住民税の受託借入金特別税額控除制度について

平成19年度から実施された所得税から住民税への税源移譲により所得税の額が減少し、住宅ローン控除額が減る場合があります。平成18年度末までに入居し、所得税の住宅ローン控除を受けている方で所得税から控除しきれなかった額がある場合は、申告することにより翌年度の住民税（所得割）から控除できます。

【対象となる方】（次の要件全てにあてはまる方）

- ①既に所得税の住宅ローン控除を受けている方
- ②平成11年から平成18年までに居住開始した方
- ③税源移譲による所得税の減額により、所得税から控除しきれない住宅ローン控除の金額があつた方

【申告期限】毎年3月15日まで（平成20年は、3月17日まで）

【提出先】

- 給与収入のみで、年末調整済みの源泉徴収票をお持ちの方
『住宅借入金等特別控除申告書』を源泉徴収票とともに役場税務課まで提出してください。
その際住宅借入金の年末残高額が必要になりますので、予め確認しておいてください。
※『住宅借入金等特別控除申告書』（確定申告をしない人用）については、税務課に用意しています。

○確定申告をする方

- 所得税確定申告書とともに、『住宅借入金等特別控除申告書』（確定申告書を提出する人用）を税務署に提出してください。

◆ お問い合わせ 串本町役場 税務課 TEL.0735-62-0555 ◆

所得税等の障害者控除対象者の認定制度について

所得税法施行令及び地方税法施行令により、65歳以上の要介護認定者等のうち「身体障害者に準ずる」として町長の認定を受けた方は、障害者控除の対象となります。

身体障害者手帳等を交付された方以外で、この障害者控除の適用を受ける場合は、税申告前に町に申請をして認定を受ける必要があります。

要介護3以上の介護認定を受け、下表に該当する方が対象となり、12月末日で有効な介護認定資料を基に判定を行います。

この認定書は、所得税、町県民税の障害者控除のみに適用され、自動車税や軽自動車税の障害者減免の対象にはなりません。

該当すると思われる場合は印鑑をご持参の上、保健福祉課で「障害者控除対象者認定」の申請をしてください。申請受理後、障害状況等を確認のうえ、後日認定書を申請者に郵送いたします。

	認定区分	認定基準
特別障害者に準ずる者	身体障害者(1・2級)に準ずる者	要介護4以上で日常生活自立度がB以上
	知的障害者(重度)に準ずる者	要介護4以上で日常生活自立度がⅢ以上
障害者に準ずる者	身体障害者(3~6級)に準ずる者	要介護3で日常生活自立度がA以上
	知的障害者(中・軽度)に準ずる者	要介護3で日常生活自立度がⅡ以上

◆ お問い合わせ 串本町役場 保健福祉課 TEL0735-62-0555 ◆

本州最南端の火祭り

日 時

1月26日(土)

午後4:30～午後6:30

場 所

潮岬 望楼の芝生



午後4時30分～

◇しょらさん鍋振る舞い
串本節保存会・トルコ民族舞踊団
潮岬(みさき節)保存会公演

午後5時00分～

◇餅つき・芋餅プレゼント

午後5時20分～

◇式典

午後5時30分～

◇火矢・花火・芝点火
(BGM串本黒潮太鼓)

午後6時30分頃終了予定

※雨天の場合は2月2日(土)に延期



主催：串本町観光協会 後援：串本町/串本町商工会/古座観光協会